

# 大津御坊通信

2020年5月発行

庫裏竣工報告特別号

真宗大谷派大津別院

大津市中央2丁目5-25

電話 077(522)6960

## 大津別院庫裏（同朋会館）建設工事完了報告



〈輪番御礼〉

大津別院輪番 日野隆文

去る2020年2月、建設業者から引き渡しを受け、約9カ月に及ぶ大津別院庫裏（同朋会館）建設工事が完了いたしました。

このたびの庫裏建設事業にご理解ご協力を賜りました崇敬区域の皆様をはじめ、京都教区全域の有志の皆様、大谷派保信会の皆様、その他、格別なるご寄進を賜りました有縁の皆様に謹んで篤く御礼申し上げます。また、このたびの建設事業の計画立案から完遂に至るまでご尽瘁くださいました庫裏建設委員会の各位並びに建設を請け負いださいました（有）ゆー空間建築事務所様・清水建設株式会社様に対しまして甚深の敬意を表します。さて、私は、建設工事の途中となる昨年7月に大津別院輪番に就任いたしました。そのため、以前の庫裏の姿を見たことはありませんが、旧庫裏は1975（昭和50）年に福井別院から移築されたもので、移築当初から雨漏り等による腐食に苦慮し、各所には老朽化による著しい損傷が多く見受けられたと聞き及んでおります。また、このたびの建設に至るまでには、庫裏の建て替えの議論が何度もなされたことでしたが、いずれも結実しなかつたと伺っております。

しかしながら、このたびは、もはやこれ以上の放置はできないという建設委員会の皆様の強い責



## 新築庫裏の外観

設計管理 / (有) ゆー空間建築事務所

施工 / 清水建設工業株式会社

延床面積 / 165.28㎡

構造規模 / 木造平屋建て

工期 / 2019年5月～2020年2月

総工費 / 6860万円（建物5500万円）



任感とリーダーシップのもと、全崇敬区域のご賛同とご協力を得て再建が果たされましたことは、誠に喜ばしく、これも偏に南無阿弥陀仏の名号の御用（おはたらき）の賜物と、深く感謝する次第であります。

大津別院では、新築された庫裏を最大限活用し、今後も『世のなか安穏なれ 仏法ひろまれ』との宗祖親鸞聖人の願いのもと、お念仏に集う人々の地域の道場としての歩みを重ねてまいりたいと存じます。つきましては、崇敬区域の皆様をはじめ、関係各位におかれましては、今後とも倍旧のご支援ご厚情を賜りますようお願い申し上げます、御礼の挨拶に代えさせていただきます。

なお、このたびの建設事業につきましては、当初の計画どおり滋賀銀行様からの融資を受け、その返済期間については特別をもって10年間の猶予をいただくことができました。ご理解くださいました滋賀銀行様に対しましても深謝申し上げます。最後に、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、大津別院におきましても去る3月から諸事業を休止している状況にあり、庫裏の竣工式も執り行うことが出来ずに現在に至っております。一日でも早い事態の終息を願うと共に、諸事業が再開できた際には、是非とも皆様にご参拝いただき、新築の庫裏をご覧いただきたく存じます。



## 敷地内の駐車場

○コインパーキング 21 台

(管理業者 / 三井のリパーク)

○月極駐車場 8 台 (塀外 3 台・境内 5 台)

※大津別院に御用の方は、境内の本堂前・山門の脇などに駐車いただけます。

〈大津別院庫裏(同朋会館) 完成によせて〉

大津別院庫裏建設委員会 委員長 真嶋 龍道

2014 (平成26) 年9月4日、当時の篠原輪番が大津別院役職者懇談会を招集され、大津別院庫裏の老朽化における庫裏再建の必要性について協議いたしました。本会において、「境内の排水設備の不具合並びに庫裏の老朽化をこれ以上放置することはできない」との判断がなされ、「現庫裏を取り壊し、それに伴う最小限の事務所を検討する」ことで全会一致。それから実に6年の歳月が流れ、この3月17日に別院彼岸会法要に併せて竣工式を執り行う予定でしたが、新型コロナウイルス感染症のためやむを得ず延期いたしました。

建設委員会では、崇敬区域の皆さま方の声を反映させるべく、《無駄なく、使いやすく、より安く》を念頭に置き、会議を進めてまいりました。そして、私たちの念願でありました同朋会館の完成を見ることができ、感謝しております。

このように同朋会館を再建することができましたのは、偏に大津別院崇敬区域の皆さまをはじめ、有縁の皆さま方に多大なご協力を賜りましたおかげと心より感謝申し上げます。

また、設計業務を担っていただいた(有)ゆー空間建築事務所・山本良信様には、崇敬区域の門徒の一人として格別のご厚情を賜り、お志として大幅に経費を割り引いていただいたこと、感謝の念に堪えません。

今後、この同朋会館を起点に、崇敬地区の皆さまが気楽に立ち寄り、新たな《人と人との出会い》の場が生まれ、「崇敬地区門徒の拠り所となる中心道場」として役目を果たせるように、皆さま方とともに大津別院を盛り立てていければと



湯沸室



玄関 右手前が事務室、廊下突き当りに仏間。

事務室（洋間 12 畳） / 仏間（洋間 21 畳）  
 男子便所（個室 3・小 3） / 女子便所（個室 3）  
 多目的便所（大 1・小 1） / 湯沸室 / 渡り廊下  
 スロープ / 収納庫など

思っております。  
 誠にありがとうございます。

合掌

〈建設委員会 副委員長挨拶〉

大津別院庫裏建設委員会 副委員長 松村 哲夫

長年の課題であった大津別院庫裏（同朋会館）の完成を目の当たりにし長年の課題が解消したこと大津別院崇教区域の皆様は別院門徒（直参門徒）の代表として心より厚く御礼申し上げます。

特に 2015 年度に発足した建設委員会委員の皆様には 5 年、25 回の委員会、崇敬区域各組での住職、門徒の皆様への説明会等で熱心に協議、計画立案から募財まで進めていただき別院庫裏（同朋会館）が完成しましたこと心から感謝いたします。

計画進行過程では庫裏建設規模、建設予算、募財額算出基準など問題山積し計画挫折の危機を何度か感じましたが、錦秀見前輪番、真嶋龍道委員長のリーダーシップに敬意と感謝を表します。

直参門徒の皆様には高齢化が進み経済状況の厳しいところ募財にご賛同いただいたこと感謝申し上げます。

大津別院と湖西地区 3 つの組とは長きに亘り地理的な関係もあって疎遠になっていたようですが同朋会館の完成を機に人と人が出会う豊かなふれあいの場、研修道場として活用いただき別院の更なる興隆を念願致します。

庫裏（同朋会館）の建設費は完済まで 10 年が見込まれています。今後とも皆様の変わらぬご支援、ご鞭撻をお願い申し上げます。



### 仏間 洋間 21畳

法事、控室、学習会、会議などに利用。床はタイルカーペットで椅子の使用可能。



### 渡り廊下

重要文化財の本堂と庫裏を繋ぐ渡り廊下。文化財保全のため自動閉鎖の防火壁を設置。

車椅子用の外部スロープと本堂を繋ぐ通用口も設置。



### 事務室 洋間 12畳



### 女子便所 個室 3



### 男子便所 小 3・個室 3



### 多目的便所 大 1・小 1

## 新しい庫裏（同朋会館）の工事完了まで



2019年7月 地盤改良及び基礎工事



2019年5月 解体開始



2019年5月 屋根瓦撤去



2019年12月 内装及び外構工事



2019年11月 外観及び内装工事



2019年10月 上棟

### ◎建設事業計画の財務について

(会計期間 2018年～2029年)

#### 1) 収入予定額

	金額	備考
寺院懇志	32,158,000	右表 各組
門徒懇志	6,600,000	右表 直参
特別懇志金	5,000,000	
別院自己資金	5,540,750	
駐車場収入回付	19,301,250	10年間
合計	68,600,000	

#### 2) 支出予定額

	金額	備考
建物建設費	55,000,000	支払済
外構工事費等	6,986,650	支払済
設計管理費	1,836,000	支払済
庶務等諸経費	940,761	
銀行利息	3,836,589	10年間
合計	68,600,000	

#### 3) 滋賀銀行借入

借入金額	利息	返済期間	平均返済年額
4600万円	1.5%	10年	約500万円

### ◎懇志金の収納状況

(募財期間 2018年～2025年)

#### 1) 寺院懇志・門徒懇志

	現況	収納率
近江第1組	9,743,634	42.4%
近江第25東組	882,000	100.0%
近江第25西組	2,114,000	100.0%
近江第26組	5,139,340	83.3%
直参門徒	5,953,000	90.2%
合計	23,831,974	61.5%

#### 2) 特別懇志金

	現況	件数
崇敬区域内*	2,205,000	41件
京都教区内	1,008,000	53件
大谷派保信会	495,000	16件
その他*	528,000	4件
合計	4,236,000	114件

\*別院役職者12名、合計110万円を含む

(2020年4月30日現在)